

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)

【公開番号】特開 2009-139059 (P2009-139059A)
 【公開日】平成 21 年 6 月 25 日 (2009.6.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-025
 【出願番号】特願 2007-318410 (P2007-318410)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 7/04 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 7/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 8 日 (2011.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

家屋の外壁に臨んで開口する換気ダクトの屋外開口端に装着される屋外末端部品であって、

前記換気ダクトと連通させる孔が形成された板金背板を有するベースと、

このベースを、下部を除いて覆う板金で一体成形した箱形のカバーとを備え、

前記板金背板の下部には、前記カバー側に向かって斜め下方に張り出す水切り板が一体に形成された屋外末端部品。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の屋外末端部品であって、前記板金背板の外側面において、前記板金背板の端部から前記孔に向かって所定距離の位置に、曲げ形成により、前記カバーと反対側に向かって所定距離突き出すような突出部が形成された屋外末端部品。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 のいずれかに記載の屋外末端部品であって、前記板金背板に形成された水切り板は、

前記板金背板の下部から、前記カバーと反対側に向かって所定距離突き出した部分と、

前記突き出した部分の端部から下方に向かう、前記板金背板と平行な部分と、

前記平行な部分の下端から前記カバー側に向かって下方に張り出す部分とを有する

屋外末端部品。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の屋外末端部品であって、前記板金背板の上部には、前記カバー側に突き出し、前記カバーの上部が取り付けられる上部立上りが、前記板金背板を折り曲げて形成された屋外末端部品。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の屋外末端部品であって、カバー上部に溝が形成され、前記板金背板の上部立上りに、前記カバー上部に形成された溝に係合する溝が形成された屋外末端部品。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の屋外末端部品であって、前記板金背板の両側部には、前記カバー側に突き出し、前記カバーの両側部が取り付けられる両側立上りが、前記板金背板を折り曲げて形成された屋外末端部品。